

# はくしま

大迫 鈴子 様作

2011年9月30日

第68号

発行人：中瀬 光夫

発行：特別養護老人ホーム白島荘

〒562-0012 箕面市白島3-5-50

TEL：072-724-5511

FAX：072-720-2054

ホームページ：http://www.osj.or.jp

メール：hakusima@hcn.zaq.ne.jp

## ご挨拶

白島荘ご利用の皆様、ご家族様、そして在宅サービスをご利用いただいている皆様、関係機関の皆様、日頃は白島荘の運営に対しましてご理解とご協力をいただきありがとうございます。職員一同心より感謝いたしております。

今年3月に起きました東日本大震災により被災され、犠牲になられた方もたくさんおられます。いまだについて最近のように鮮明に皆様の記憶の中にも大きく影を落としていることと思います。私も報道などで被災地の様子を目の当たりにするたびに心が痛みます。と同時に命の尊さ、健康でいられることのありがたさをしみじみ感じております。被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて白島荘においては平成23年度に入りはや上半期が過ぎました。経営・サービス・人材育成・地域連携の4つの部門からなる特別強化事業の取り組みを含めた事業計画に沿って運営を進めているところです。そんな中皆様に行事として楽しんでいただけたらと5月には「さつきまつり」、少しお

## 副施設長 嵯峨 くるみ



天気が良くなく3階フロアでの開催となりましたが熱気あふれるお祭りになりました。

8月には「盆踊り」、今年には晴天の下開催でき地域の方々にも楽しんでいただくことができました。いずれもボランティアさんのお力を借りなければできないこととご協力に感謝しております。

9月には敬老祝賀会が催され、白島荘では喜寿、米寿、白寿をお迎えになられた方が今年はこのほか大勢おられこの上なくめでたい限りです。また毎年恒例になっております西川きよし御一行様をお迎えしての素人名人会はいつも大盛況で元気なみなさまの歌声と笑い声とともに会場全員で長寿をお祝いすることができました。

美しい四季のある国日本に生まれ育った喜びをかみしめ、向かう季節を楽しみながら皆様には元気に過ごしていただけるように職員も元気で支援に励みたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。





**岸本富子様**  
昔、農業を営み、いろいろな野菜を作っていました。よろしくお願ひします。



**植木房子様**  
以前は東大阪に住んでいました。ご飯がおいしいので白島荘に来てたくさん食べるようになりました。パン粥が気に入っています。



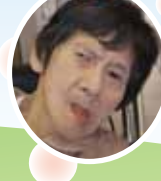
**金森好子様**  
読書やクラシック音楽を聴くことが大好きです。気軽に話しかけてください。



**井上律子様**  
岡山の生まれです。穏やかに過ごしていきたいと思ひます。宜しくお願ひします。



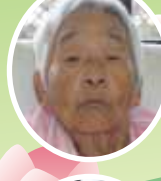
**竹森耕造様**  
山登りや俳句が趣味で、パソコンも詳しいです。よろしくお願ひします。



**中西愛子様**  
大阪市の生まれです。以前は事務仕事をしていた。元気に過ごしていきたいと思ひます。



**兼子志女子様**  
愛知県で陶器のお花を作る仕事をしていました。よろしくお願ひします。



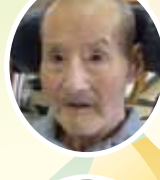
**西村登志恵様**  
かつては高知に住んでいました。外食するのが楽しみでお好み焼きやコーラが大好きです。



**安田せつ様**  
昔、洋裁の仕事をしていました。クラシック音楽を聴くのが好きです。よろしくお願ひします。



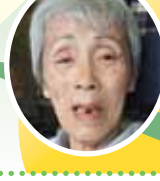
**中村八重子様**  
能勢の生まれです。読書が好きなのと俳優の長谷川一夫のファンです。楽しく毎日をを送りたいと思ひます。



**岡田 治様**  
和歌山の生まれです。かつては税理士をしていました。阪神ファンです。一緒に阪神を応援しましょう。



**大迫鈴子様**  
山口の生まれです。お茶、お花、書道、カラオケが趣味です。いろいろな方とお話できるのが楽しみです。



**向井真美子様**  
兵庫の生まれです。洋裁が趣味で、童謡も好きです。宜しくお願ひします。



**石村欽子様**  
箕面生まれです。かつては日本アルプス等、山登りを楽しんでいました。社交ダンスも習っていました。喫茶でミルクを飲むのが楽しみです。どうぞ宜しくお願ひします。

## 介護科よもやま話

6月20日から二週間、岩手県大槌町の社会福祉協議会に派遣職員として活動してきました。大槌町は岩手県の沿岸部にある町で人口は約1万5千人、その約1割近くが今回の震災で死亡、または行方不明となっています。現地の状況は3ヶ月たった今、道路は整備され、電気、水道、ガスなどのライフラインも復旧してきており、徐々に復興への道は切り開こうとされているものの、瓦礫などは街に大量に残されており、ハエなどの害虫なども異常発生するなど、未だ震災の爪痕は街に残されている状況でした。現地の活動内容としては大槌町の住人の自宅や避難所、仮設住宅などを訪問しニーズ調査を行いました。

また仮設で建てられた病院やスーパーの場所の情報提供、現地社協が行っているボランティア活動の情報提供など、住人の生活をサポートする活動を行いました。大槌町は今回の震災で町長が亡くなり、副町長も辞任するなど役場も混乱する中、通常通り機能せず、住人の方の不安や不満も募る一方でした。未だ復旧の目処が見えず、心身ともに疲れ果てた状況ですが、絶望だけでなく、自分達で町を復旧させ、この震災を乗り越えようと復旧に向けて必死に活動されており。またそれを支える支援団体も徐々に増えてきており、人の強さというものを強く感じる事が出来た活動でした。

白井直樹

## 医務室だより

暑い夏も終わりようやく過しやすい日がやって参りました。食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋・・・皆さんはどの様な秋を満喫されていますでしょうか？白島荘の秋は言わずと知れた「食欲の秋」。沢山食べて、この冬を乗り越えましょう！

冬の感染症の代表と言えば「インフルエンザ」。手洗いうがいは勿論の事、やはり有効なものは「ワクチン接種」です。利用者様も10月から随時始まり、それに引き続き職員の接種も始まります。ご家族様もご来荘の折は手洗い・うがいの励行を宜しくお願い致します。

ご利用者様の胸部レントゲン撮影も無事8/23に終了しています。異常のあった方には個別にお電話させていただいています。

看護職員 岡本 泉



## 栄養科だより

### 夏のイベント食 ～流しそうめん～

利用者様の生活の場である福祉施設において、食の楽しみを提供することは栄養科の取り組みとして極めて重要であります。当施設でも季節に合わせたイベント食を1年間通して実施しています。

ここでは、今年の夏に実施した流しそうめんを紹介致します。第1回目は7月11日(月)、第2回目は8月9日(火)とより多くの利用者様が流しそうめんを楽しんでいただくことを目的にフロアごとに日程を分ける工夫を行っています。流しそうめんを使用する竹は、相談員が竹藪から切ってきたものを毎年使用しています。利用者様がそうめんをすくいやすくするため「竹の傾斜、水量」を調整致しました。

普段、ゆっくりと箸を使われる方が、素早く腕を動かしてそうめんをすくわれている姿や、少食の方がそうめんをたくさん食べられるなどイベント食を楽しまれている様子がみられました。

今回のイベント食を通じて食の楽しみを提供することの重要性を改めて認識致しました。今後も、フードサービスの充実と利用者様の生活の質の向上に貢献できるように努めて参ります。

管理栄養士 大迫 雅人



グループホーム  
**「華の家」通信**



8月初旬の厳しい暑さの中「華の家」では大勢の地域の方々にご参加いただき「お菓子作り教室」を開催致しました。メニューは「カスタードプリン」「チョコチップケーキ」「スムージー」の3種類。管理栄養士大迫さんの親切な指導と、地域の方々、ご利用者の方々のチームワークによりとても上手に出来上がりました。もちろん、味も抜群に美味しかったです。お菓子作りの後、学生ボランティアによる水晶玉を使っ



お菓子作り教室にて



ジャズ演奏をご覧になって

たのジャズ演奏を披露していただきました。ご利用者の方々はもちろん、地域の方々もとても喜んで下さいました。この様に地域の方々より「華の家」のご利用者と1つものを作ったり見たりして共感したいと思っただけの様、又、地域の方々が「華の家」に足を運んでくださることで生き生き輝いておられるご利用者を見たくてスタッフ一同いろいろな企画を考えています。



日常の中で（ボール遊び）

グループホーム「華の家」ホーム長 齊藤 恵子



**在宅応援団**

はくしまヘルパー

こんにちは。はくしまヘルパーです。食欲の秋ですね。はくしまのヘルパーも、利用者様の「これおいしいなあ!」が聞きたくて、あれこれ工夫したお料理を作っています。そんな中から利用者様に評判の良かったものをいくつか挙げてみました。

**ジャガイモの磯辺揚げ**

すりおろしたジャガイモの水気を軽くしぼり、塩こぶと片栗粉を混ぜ、一口大にまとめたものを海苔で巻いて油で揚げる。やわらかく、食べやすい形の上、「何で作ってあるの?」皆さん興味津津。

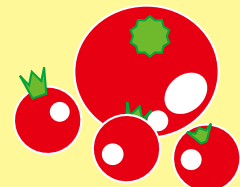


**オクラのお好み焼**

ゆがいて輪切りにしたオクラに小麦粉・卵・水少々を混ぜ、お好み焼きを焼く要領でフライパンで焼く。炒めた豚肉を少々混ぜれば、ボリュームUP! もちもち感がたまらない。ソースでもおしょうゆでもお好みで。

**フルーツみたいなプチトマト**

プチトマトに楊枝で一ヶ所穴を開け、サッと湯通しして湯むきする。その上にさっと砂糖をかけて冷やす。フルーツみたい!パクパク召し上がられます。



食は健康の基本です。楽しく、おいしく召し上がって頂けるように、ヘルパー研修では調理実習も行い、利用者様の元気のために頑張っています!

サービス提供責任者 原田 恵

# 光明の郷ケアセンター新聞

## 白島荘小規模多機能型居宅介護 「ひねもす」

### ひねもすへの質問コーナー

今回はひねもすに寄せられる皆様からの質問で普段特に多いものをご紹介します、お答えします。

#### Q:小規模多機能居宅介護って何?

A:小規模多機能居宅介護では、介護保険を使って、同じ事業所で、「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを利用することができます。昼間に通っている場所と、同じ場所で泊まれるので、知らない場所に泊まりに行くより安心です。ケアマネジャーも同じ事業所にいるので安心です。

#### Q:利用するにはどうしたらよいでしょう?

A:箕面市民で介護保険の認定を受けている方はご利用いただけます。まだ、認定を受けておられない方も、ご相談下さい。現在、他市にお住まいで介護を機にご住所を移される予定の方も、ご相談を受け付けています。



小規模多機能型居宅介護「ひねもす」  
箕面市粟生新家3丁目12番5号  
箕面市立光明の郷ケアセンター2階  
TEL 072-729-6055

#### Q:重度の障害がありますが、利用できますか?

A:ぜひ一度ご相談下さい。ちなみに館内はバリアフリーです。身体が不自由で自宅で入浴できない方には、チェアインバスでの入浴を行っています。



ひねもす」自慢の綺麗なトイレは6つあります。すべて手すりつき、うち2つは車椅子対応です。

#### Q:「通い」の場合どんなプログラムがありますか?

A:「ひねもす」ではご利用の方々それぞれに好きなことをしていただいています。日記を書かれる方、持参のCDを聴かれる方、ジグソーパズルに取り組まれる方、静養される方、ご希望にあわせ、思い思いに過ごされています。ラジオ体操や口腔体操など、皆で集まって行うプログラムもあります。坊主めくりやジェンガ、カルタ等のテーブルゲームも人気があって盛り上がります。節分、クリスマス会、そうめん流し、等、季節の行事の他、東小学校との交流行事や、白島荘のイベント参加もあります。

「ひねもす」のリビングです。日中、ご利用の皆様が集う、憩いの場所です。手前の畳のスペースでお昼寝もできます。泊まりのお部屋も別にありますのでご安心を!



## 高齢者デイサービス便り

### \*自動足首運動マシン導入\*

光明の郷ケアセンター高齢デイサービスに新しい運動機械が届きました♪ゆっくりじっくりと自動で動いて、歩く運動と同じ効果を得られます!むくみも改善されて足が軽くなるんです!しかも椅子に座ったままので、とってもカンタンで、車イスの方もご利用できます。

8月から導入しましたが、利用される方がだんだん増えてきました。皆様に大変好評です♪おしゃべりしながら♪居眠りしながら♪窓から景色を眺めながら♪順番を心待ちにされている方も…光明の郷デイ人気の加圧式のメドマーマッサージを越えて人気NO.1に輝く日も近いのでは…!?

高齢者デイサービス 甲田 義弘



歩行訓練の前に  
使えば足の動きも  
スムーズに♪



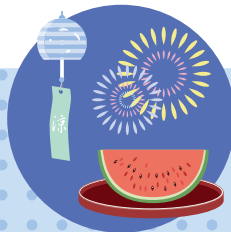
おしゃべり  
しながら  
毎回使って  
いますよ

# 敬老祝賀会



今年も9月18日（日）に敬老祝賀会が行われました。午前中の式典、特別メニューによる祝宴、午後からの素人名人会と盛りだくさんの内容でした。素人名人会では、西川きよしさん・ヘレンさんご夫妻の司会の下、華の家、ひねもす、白島荘2階、3階のご利用者の方々が日頃の練習の成果を発揮し、自慢の歌声やダンスを披露されました。生演奏を前にして緊張される利用者の方もおられましたが、名人賞も続出し、拍手と笑顔に包まれて、大盛況のうちに敬老祝賀会は終了しました。来年も、名人賞を目指して、よりいっそうがんばりたいと思います。

# 盆踊り



8月6日（土）好天に恵まれ、毎年恒例の盆踊りが白島荘駐車場にて行われました。浴衣・半被を羽織って踊りの輪に参加される方、手拍子を打って掛け声で参加される方とみなさま大いに楽しまれたご様子でした。またご家族様、地域の方々をはじめ多くの方にご来荘頂き、とてもにぎやかで楽しい盆踊り大会になりました。胡蝶の会の皆様をはじめ、ボランティアの皆様にもご協力頂き、本当にありがとうございました。



白島荘の日常を綴るブログ「はくしま日記」は、開設より一年が経過しました。利用者の表情や様子をお伝えするだけでなく、スタッフの取り組みや白島荘における四季の移ろいなど様々なテーマで更新をしてきましたが、2011年8月現在総アクセス数が2,000件を超えました。本当にありがとうございます。

これからも不定期ではありますが、ほのぼのとした白島荘の日常を綴っていきますので、より多くの方々に「はくしま日記」を閲覧していただければ幸いです。



一連の夏の行事も終了し、箕面でも秋の気配を感じるようになり、紅葉が楽しめる時期も近づいてきました。今回は、利用者の日々の様子に加えて、各種行事の様子、災害地派遣職員の体験談を掲載するなど内容を豊富にしましたが、いかがでしたでしょうか。

白島荘広報編集委員